

大げやき

第 7 号
2.10.1
文:校長

●10月のめあて

行事を成功させよう

二学期が始まり一ヶ月が過ぎました。学校では、秋季運動会に向けて、練習に励んでいます。先生方は、コロナウィルス感染防止に努めながら、これまでの種目や内容を見直し、試行錯誤しながら行っています。子供達は、体力や走力がついてきました。また、集団での活動を通して、自主性や協調性も育ってきています。どうぞ、楽しみにしててください。



よく学び、よく遊ぶ、修学旅行！



二十四日、六年生が、仙台・松島方面に一泊二日の修学旅行に行きました。仙台高等裁判所、五大堂、瑞巖寺、青葉城趾、水族館、科学館などの見学を通して、

歴史と文化、生物と科学等、社会科や理科の学習を深めました。また、遊園地では、雨など気にせず歓声を上げて、友達と一緒にアトラクションを楽しみました。さらに、ホテルでのディナーは、豪華な洋食のフルコースを、フォークやナイフを使い、緊張しながらも美味しくいただきました。心もお腹も大満足でした。仙台駅周辺の班別行動では、地図を見て、班で協力して科学館を目指しました。自分たちで判断し行動する自律を目的にした学習でした。健康面では、マスクの着用、検温、手指消毒を徹底し、感染防止にも努めました。充実した夢のような旅行でした。これからの生活にぜひ、生かしてほしいと思います。

防災について考えた避難訓練



八日(水)には、第二回目の避難訓練を行いました。今回は事前に児童には知らせません。また、休み時間に行い、担任がいない中での訓練でした。児童は真剣に参加し、安全に、素早く避難し、三分以内で集まることができました。

私から九月一日の「防災の日」について話しました。大正十二年、今から約百年前の九月一日午前十一時五十八分、震度七の大地震が関東地方で起きました。「関東大震災」です。十万人もの尊い命が失われました。そのほとんどが、火事によるものです。防災の日、このことを教訓として、台風・豪雨・洪水・地震・津波などの災害について考えるために、昭和三十五年に決まりました。いつ、どこで起こるか分からない災害から自分の命を守るのは、簡単ではありません。ですから、事前に準備し、繰り返し訓練し、防災について考えておきましょう。

新しい支援員の先生の紹介



十月一日から、児童の支援を行う、吉川ヨシ子先生が勤務することになりました。主に、低学年の生活支援を行います。

ていただきます。松山小の子供達は、手厚い支援を受けられるようになります。よろしく願います。

エコキャップの寄贈に感謝



六年の佐竹優月さん、四年の美優さんのおうちから約八kgものキャップを寄贈していただきました。ありがとうございます。

十月の主な行事予定

- 演劇鑑賞教室 一日(木)
- 新体力テスト 二日(金)
- 県環境創造センター見学(四年)
- 森林環境学習(五年)
- *お弁当の日 七日(水)
- 秋季大運動会(授業参観) 十日(土)
- *繰替休業日 十二日(月)
- クラブ活動 十四日(水)
- 内科検診 十五日(木)
- 児童集会(読書週間) 十六日(金)
- 眼科検診 二十三日(金)
- クラブ活動 二十八日(水)
- 歯科検診 二十九日(木)